

トキリマメ号

長野政治さんを偲んで

代表 山田陽治

2023年10月に、ふるさと侍従川に親しむ会元副会長 長野政治さんが永眠されました。長野さんは、裏表のない屈託な方で、侍従会学生部の監督を務めていただいていたこともあり、当時の学生部メンバーにも気さくに声をかけてくださり、やんちゃ盛りな学生部メンバーも長野さんとは道で会うと挨拶をかわしていたようで、メンバーから「今日長野さんに会って『おー○○元気かー』と言われた」と嬉しそうに話してくれていました。…学校で先生の手に余るようなメンバーでも、地域の大人から見守られている感があったのでしょね。

地の人ということもあって、侍従川流域での昔話をよくしてくれました（だぼはぜ通信のシリーズ連載であった「私が子どもだった頃」の第一回が長野さんです←ふるさと侍従川に親しむ会HPでバックナンバー第2号（ゲンジボタル号）をご覧ください。

六浦小学校在学当時、後輩にあたる谷啓氏（コメディアン「ハナ肇とクレージーキャッツ」メンバー）を「よくいじったよー」とか、六浦小と金沢小の児童の戦争の話…紙面では書けないような話（^^;もいろいろしてくれました…長野さん自身、かなりヤンチャだったようです。

ボクが初めて会ったのは侍従会創設間もない頃で、その時の長野さんのイメージはどこか厳しさ怖さを感じられました。20代前半の山田は実際厳しく指導されました…そのような厳しさにも優しさがあったのを感じていたので、「はい！」と素直に聞いていました（たぶん…汗）

ボクが子どもを指導するときの姿勢は、長野さんはじめ様々な侍従会の先輩方から受け継いだものだと思います。

これからも、侍従会や他の場面でも長野さんの意思を大事にしていきたいと思ひます。長野さん、今までありがとうございました！空から侍従川、ふるさと侍従川に親しむ会を見守っててください。



トキリマメ (吐切豆) 学名 : *Rhynchosia acuminatifolia* Makino

別名 : オオバタンキリマメ (大葉痰切豆)

山野に生えるマメ科のつる性多年草で葉は薄く毛も少ない。頂小葉は先端がとがった卵形で長さは4~10 cm、巾2.5~6 cm。花は6-9月頃に開き黄色。莢は長さ約2 cm、巾約1 cm程度で細毛があり扁平で紅熟する。徐々に乾いて開裂し、莢の縁(縫合線)の上に黒色の種子2個がぶら下がる。

【分布】暖帯 : 本州(関東地方以西)・九州・朝鮮

【参考】非常によく似た植物にタンキリマメ(痰切豆)がある。トキリマメの小葉(頂小葉/側小葉)は先が尖り、頂小葉の幅は基部側が最大であるに対し、タンキリマメの小葉は厚く丸みがあり、頂小葉の中央から先の幅が広い特徴を有している。 寺尾勝廣



5月定例クリーンアップ&生き物調査

【活動報告1】

5月26日(日) 10:00~11:30 曇り

寺尾勝廣

実施範囲 : 六浦2号橋~大道東橋

回収したゴミ : 土嚢袋1袋

参加者 : 山田陽治、金子英司、小池碧馬、川口大輔、川淵麻衣、川口菜瑚(小5)、川口楓翔(小1)、水野公秀、水野秀昭(高2)、阿部奈緒、阿部凌大、細貝泰太(小3)、細貝采音(小1)、中園瑛太(中3)、宇多芳美、安藤正人、安藤大和(小4)、安藤千歳(小2)、石田泰生、石田蓮奈(小2)、グエンチトウハー、下川隼祐(小6)、下川恵祐(小3)、五月女陽斗(高1)、寺尾勝廣(計26名)

気づいた点 : 先週の金沢の日で拾ったからかもしれないが、ゴミは少なめだった。

ちょっとした深場は魚影が濃く、少ない安心できる場所に集まっているようであった。

確認した生き物 :

【中下流域】泥牛し橋~大道一丁目緑地

イシマキガイ、カワニナ、ハグロトンボ幼虫、コシボソヤ



ンマ幼虫、ギンヤンマ、ミゾレヌマエビ、ミナミテナガエビ、クロベンケイガニ、ミシシippアカミミガメ、アユ、ボラ、アシシロハゼ、ヒメハゼ、シマヨシノボリ、スミウキゴリ、ビリング、チチブ

冬期に行われた春雪工事（山王橋～六浦二号橋）の影響で減った、イシマキガイ、クロベンケイガニ、ビリングが確認できてよかったです。

【下流域】泥牛橋～京急逗子線跨線橋

*調査：金子、水野ひ

アサリ*上流限界は侍従橋、マガキ、コウロエンカワヒバリガイ?←未確認、アラムシロガイ殻、ホソウミニナ、カワニナ*冬期に行われた工事により流されたものと思われる、フタバカクガニ、タカノケフサイソガニ、マメコブシガニ、ウナギ、ボラ

*魚類は採集しやすいポイントが少なかったため採集しきれてない。

*調査開始の30年前に比べて…最近海域（内湾域）で見られる生きものの上流限界が上がってきている。



会員の集い

6月2日（日）18:00～19:15

【活動報告2】

廣瀬隆夫

大道コミュニティハウスで総会が実施されました。激しい雨の中、たくさんの会員の方にお集まりいただきました。

1. 開会の挨拶：山田
2. 2023年度の活動報告と会計報告：寺尾、柴田、河本
3. 2024年度の活動予定と予算案：寺尾、柴田、河本
4. メーリングリストからLINEへの変更について：寺尾
5. 侍従川で近年減少傾向にある生き物たち：金子
6. 役員の交代、変更について：寺尾
7. 閉会の挨拶：山田



7月拡大クリーンアップ&さかな取り大会

【活動報告3】

7月28日(日) 10:00~12:00 晴れ

寺尾勝廣

2024年7月28日(日)10:00の大道1丁目緑地に67名の人々が集まりました。

涼を求める人、子どもとの時間を楽しみたい人、川をきれいにしたい人、川の生き物に触りたい人、昆虫を追いかけたい人、目的はそれぞれ、それでOK。目的はなんでもOK。川に触れて川の魅力に気づく機会となっていればうれしいです。

当日のゴミは土嚢袋で1袋のみ。拾うゴミが少なく皆生き物を追いかけることに注力でき、多くの生き物を捕まえることができました。

[貝類] イシマキガイ、カワニナ

[昆虫類] ハグロトンボ成虫/幼虫、コシボリヤンマ幼虫、コオニヤンマ幼虫、コヤマトヨボ幼虫、ガガンボの一種幼虫

[甲殻類] ミゾレヌマエビ、ミナミテナガエビ、モクスガニ、クロベンケイガニ(逃げられた)

[魚類] アユ(目視のみ)、ボラ、ウナギ(逃げられた)、スミウキゴリ、ビリンゴ、チチブ

水槽の生き物と山田さんからの生き物レクのダブル効果で子どもたちはミニミニ水族館スペースにかぶりつき。みんなキラキラした目で見つめていました。11時には37℃にはなっていたようですが、熱中症の症状も見られず皆元気いっぱい侍従川を楽しめたかと思います。毎月第4日曜日の10:00からの川清掃が侍従側に親しむチャンスです。これから毎月楽しみましょう。



生き物発見記録

6/1(土) 朝比奈市民の森にて、アマガエル(複数個体)、コクワガタ♂1、ノコギリクワガタ♂2♀2、フクロウ(鳴き声)を発見…金子

6/21(金) 侍従川河口関東学院前にてキュウシユウノウサギの幼獣?の死体を発見…五月女 ⇒



8月定例クリーンアップ&生き物調査

【活動報告3】

8月25日(日) 10:00~12:00 晴れ

寺尾勝廣

実施範囲：六浦2号橋～第二山王橋 回収したゴミ：土嚢袋1袋

参加者：水野公秀、松嶋良次、松嶋律樹(小4)、米田友理、米田拓未(小1)、安藤正人、安藤大和(小4)、安藤千歳(小2)、仲村昇、仲村春希(小6)、飯塚幸司、飯塚咲結(小1)、飯塚大司、小池碧馬、中園瑛太(中3)、中園遥太(小6)、寺尾勝廣(計16名)

確認した生き物：イシマキガイ、カワニナ、ウナギ、ボラ、ヨシノボリ、チチブ、メダカ、ミゾレヌマエビ、ベンケイガニ、モクスガニ、テナガエビ

気づいた点：ボラの空中キャッチで大盛り上がりのスタートとなった。ゴミは少なかった。浚渫区間の濁りがひどいのに対して、植物が残った部分の透明度は高かった。



トピックス

6/2(日)ホテル観察会 雨天のため中止

6/6(木)大道小学校 侍従川クリーンアップ…山田が対応

6/23(日)6月定例クリーンアップ 雨天のため中止

7/2(火)やまだようじ自然塾「フリースクール自然のがっこう」開催(主催：自然体験教育研究会NEES)

7/8(月)青空自主保育つくしとたね3~5歳組が侍従川で川遊び…山田が対応

7/17(水)六浦小学校5-2で侍従川の学習…山田が対応

7/29(月)鶴見あけぼの保育園年長組と魚とり&ミニミニ水族館づくり…山田が対応

8/17(土)やまだようじ自然塾「親子魚とり教室」開催(主催：自然体験教育研究会NEES)

8/26(月)スパーク逗子×山本メディカルが侍従川で魚とり…山田が対応



上流域調査報告 金子英司

3月24日(日) 午後に源流域の調査を実施しました。天候：曇りのち雨
地点ごとに確認できた生き物は次のとおりです。

〈朝比奈切通し入口〉ヤマアカガエルの卵塊

〈若水〉サワガニ、オニヤンマ(ヤゴ)、アカネトンボの仲間(ヤゴ)、ヘビトンボ(幼虫)

5月26日(日) 午後に源流域の調査を実施しました。天候：晴れ
地点ごとに確認できた生き物は次のとおりです。

〈ホタル谷戸に向かう途中にて〉ミシシッピアカミミガメ、ヒガシニホントカゲ

〈ホタル谷戸〉サワガニ、モンキマメゲンゴロウ、ヤマサナエ(成虫)、アサヒナカワトンボ、ヤマサナエ(ヤゴ)、ミルンヤマン(ヤゴ)、モンカゲロウ(幼虫)、シマアメンボ、オナガグモの仲間

〈若水〉オニヤンマ(ヤゴ)、ミズムシ(ワラジムシ目)、ヒメフナムシ

干潟の観察会で見つかった「ヒモハゼ」

金子英司

5月11日に実施した干潟観察会で今まで見たことがない魚類が見つかった。

ハゼのように見えるが細長く、細長いハゼの代表であるミミズハゼとも明らかに異なる雰囲気を持っていた。それこそ、アナゴを小さくそして短くしたようなフォルムだ。

その正体はヒモハゼだった(五月女氏により同定)。分布としては青森～九州となっているため存在自体はおかしくないが、侍従会としては初めての記録である。干潟観察会は度々行っているのでここ数年で見られるようになった可能性が高い。海や汽水域の生物や鳥類は気候や環境の変化で移動や見られる数の増減を起こしやすい。そのため、よく知ったフィールドでも時折このような新発見がおこる。こういった変化を見逃さないためにも、同じ場所の記録を長期的に取っていくことはとても大切なことである。



ヒモハゼ 学名：*Eutaeniichthys gilli*

脊索動物門 条鰭綱 スズキ目 ハゼ科

河川汽水域の砂底・砂泥底にあるアナジャコ類やカニ類の巣穴などに見られる。ミミズハゼ属のハゼに似るが、背鰭が2基あること、体側に黒い縦帯があることで区別できる。体長5cmほど。

干潟調査 in 野島「国道 357 号線延伸工事影響調査」

金子英司

6/9 (日) に野島水路の干潟調査を実施しました。

【実施日時】 2024年6月9日 (日) 10:00~14:00 【天候】 晴れ

【調査範囲】 地図 1 の赤線で囲った範囲

【確認できた生き物】

【植物】 ハマボウ、ハマナシ、テリハノイバラ、アカザ科のシオクグ、ヨシ、アイアシ?、イネ科の一種

【クラゲ類】 タテジマイソギンチャク

【貝類】 アサリ、シオフキガイ、ハマグリ、カガミガイ、マガキ、ツメタガイの殻、イボニシ、アカニシと卵、巻き貝の一種、ウミニナ、ホソウミニナ

【甲殻類】 スジエビモドキ、ユビナガスジエビ、アナジャコ、コムテキガニ、チゴガニ、ヤマトオサガニ、イシガニ、アシハラガニ、タカノケフサイソガニ、マメコブシガニ

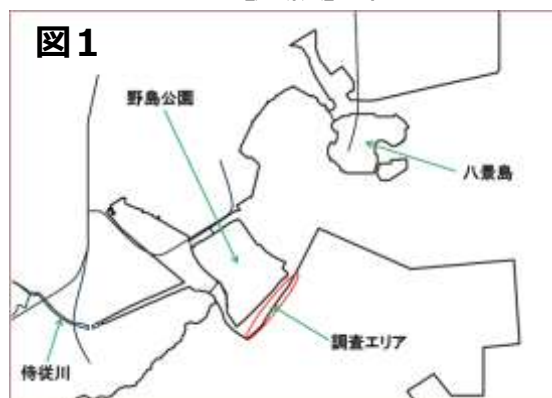
【魚類】 ヨウジウオの一種、ミミズハゼの一種、アベハゼ、チチブ

【今回の調査背景】

災害時の避難路として国道 357 号線を延伸し、八景島と夏島を繋ぐ計画が持ち上がっております。この延伸工事が実施されると野島水路上にも道路が被さる計画です (地図 2 参照)。

野島水路は国の絶滅危惧種第一類のハマボウをはじめとした様々な生物の生息環境になっています。実際に工事が行われた場合、これらの生物達への影響は計り知れません。また、野島水路の環境悪化はその先にある野島の自然海浜^{※1}への影響が出る可能性が高いです。災害への対策も必要ですが、環境にも配慮された開発が進められるように訴えていけるようにふるさと侍従川に親しむ会としても独自に生物相の調査を実施することにしました。できれば国道 357 号線の工事が行われないことが一番ですが、今後も継続して現状を把握していければと思います。

※1 野島の砂浜は横浜市で唯一の自然海浜 (人工的に作られた砂浜ではない) で、多くの生物が観察されています。夏季には多くの方が潮干狩りなどに出かける場所でもありこの貴重な環境も将来に渡って残して行きたいものです。



ハマボウのつぼみ

治水事務所との打ち合わせ 代表 山田陽治

6/24 (月) 神奈川県横浜川崎治水事務所との現地打ち合わせが行われました。

治水事務所は河川第二課の課長と職員の3人と侍従会は山田の1人で中野話～六浦二号橋の現状を見ながら、今後の侍従川の管理と工事の影響について報告と提案をしました。

昨年度冬～春に行われた山王橋～六浦二号橋の堆積土砂掘削工事の影響については、

- ・環境回復が進まない。
- ・クロベンケイガニ、ビリンゴが激減した。
- ・六浦二号橋上流右岸のヨシは根茎を埋め戻すよう要望を出したのに実行してくれなかった。
- ・植物水浄化能力がないので、一部ヘドロ化…水の汚れが見られるとの声がある。
- ・護岸の割れ目が埋められたのは事前に連絡がなかった←クロベンケイガニの棲みかがなくなった。

工事エリアの生物の減少とヘドロ化&水質汚濁が見られたので、むき出しになった護岸の水際の保護を兼ねて石組と水質浄化を兼ねてヨシの埋め戻しをしてもらうことを、要望しました。



クツワムシ状況調査 in 朝比奈小学校

金子英司

9/7 (土) に朝比奈小学校のクツワムシ調査を実施しました。

【実施日時】2024年9月7日(土) 18:00～20:00頃 【天候】晴れ

【確認できた昆虫】

[トンボ目] トンボ科: シオカラトンボ

[バッタ目] キリギリス科: ヒメクダマキモドキ、クビキリ

コオロギ科: ツツレサセコウロギ、マダラスズ、アオマツムシ、クサヒバリ

バッタ科: ショウリョウバッタ、クルマバッタモドキ

[カメムシ目] オオホシカメムシ科: オオホシカメムシ?

[ハチ目] スズメバチ科: モンスズメバチ

[コウチュウ目] クワガタムシ科: コクワガタ

コガネムシ科: アオドウガネ

[チョウ目] 蛾の仲間3種類(未同定)

[ハエ目] ガガンボ科: ベッコウガガンボ?

[クモ目] コガネグモ科: オニグモ

【採集方法】捕虫網での採集と灯火採集



【調査背景と振り返り】朝比奈から横浜自然観察の森（上郷）、金沢動物園にかけて多数のモリアオガエルが放されてしまいました。このモリアオガエルは本来、神奈川県東部には存在しない種で他の生物に影響を及ぼす可能性があります。いわゆる国内外来種となります。今回、朝比奈小学校でも多数の個体、卵塊が見つかった事から周辺環境に影響を与えている可能性が出てきました。特に朝比奈小学校は周辺地域では珍しいクツワムシの生息ポイントである事からも、これら直翅類の生息状況を確認するために今回の調査を実施しました。残念ながら、今回の調査ではクツワムシを確認する事はできませんでした（姿鳴き声共に）。朝比奈小学校エリアでの絶滅の可能性もあるため、来年も同時期に調査をしたいと思います。

2024年 大道溪谷ホタル調査報告

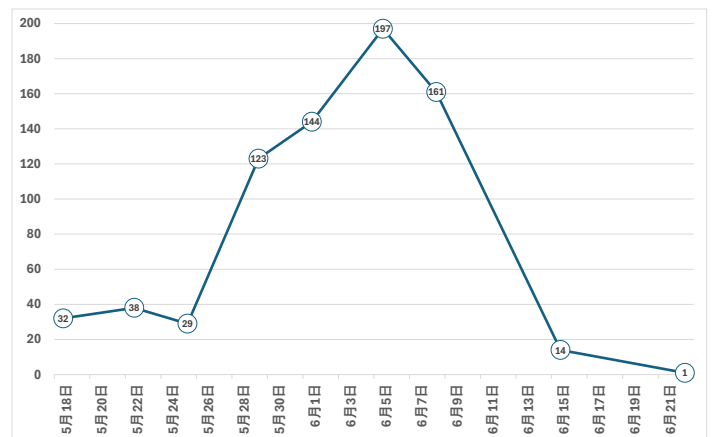
金子英司

今年の大道路谷におけるゲンジボタルのピークは6月5日（水）の19:30の197頭でした。昨年の776頭と比較すると大幅な減少になります（今年は調査日の天候が良いことも多く前後のデータも取れているためピークを捉えられていない可能性は極めて低く減少と考えるのが自然です。）。減少の要因については一概に断定することができません。

	5月18日	5月22日	5月25日	5月29日	6月1日	6月5日	6月8日	6月15日	6月22日
19:15	13	22	6	46	111	18	22	0	0
19:30	32	28	26	123	118	197	104	9	1
19:45	20	38	29	104	144	179	161	14	1
20:00	24	28	28	76	89	106	72	9	1
20:15	22	16	19	53	94	135	53	7	-
20:30	10	14	10	41	45	64	25	5	-

今年の春先の気候が不

安定だったことや十分な整備活動ができていなかったことが原因の可能性もありますが、それ以外の原因や複数の複合的な要因が絡んでいる可能性もあります。これらの要因のうち生息環境だけでも我々の手で良い方向に整えていきたいと思います。今年度も冬季に整備作業を計画しますので、参加頂けると幸いです。



☆その他ホタル調査関係トピックス☆

6/15（水）19:30頃 キンヒバリの鳴き声確認→その後雨にて確認できず

6/22（土）20:00のカウントを最後にその他ホタル生息域の調査へ

<ホタル谷戸> 20:15~20:22 ゲンジボタル: 2

<朝比奈切り通し入口> 20:25~20:32 ゲンジボタル: 8 ヘイケボタル: 0

<若水> 20:41~20:50 ゲンジボタル: 7 ヘイケボタル: 0

<常林寺から源流> 21:03~21:13 ゲンジボタル: 2

今年度の調査ではヘイケボタルを確認することができませんでした。もともと、個体数が少ないこともあり、絶滅とは言い切れません。生息環境の状態を含め今後も継続的に調査、確認していきます。

朝比奈小学校に放流されたモリアオガエルの問題 副代表 佐野真吾

モリアオガエルというカエルがいます。日本固有種で、地域によっては天然記念物にも指定されている大型の美しいカエルです。樹上に泡状の卵を産み付けることで知られる種で、可愛らしく人にもよく慣れることからペットショップでも高値で販売されています。そんなモリアオガエルですが、近年神奈川県各所で大問題になっているのです。

モリアオガエルは横浜や横須賀、三浦半島など、神奈川県東部には元々いないカエルでした。しかし、ここ数年、各所でモリアオガエルが見られるようになったのです。どのような理由か分かりませんが、何者かがそこらじゅうでモリアオガエルを放流しているのです。モリアオガエルは大型のカエルであるため、樹上性のバッタ類やセミ類なども捕食してしまいます。そのため、在来の生態系に影響を与えてしまうことが懸念されているのです。そのため、横須賀市や各地域の市民団体が駆除活動をするまでに発展しているのです。このように、たとえ国内であっても人が生息域外から持ち込み放流し、そこで繁殖してしまう生物を「国内外来種」と言います。

2024年5月、侍従川流域にある朝比奈小学校でモリアオガエルが現れたという情報を当会顧問の尾上先生と山田会長から伺いました。朝比奈小学校は私の母校でもあるので、急いで学校に連絡を取り、モリアオガエルの現状や国内外来種の問題についてお話させていただきました。

そして6月13日、朝比奈小学校の校長先生からお電話をいただき、現地を訪れました。到着して最初に驚いたのは、遠くからでも分かるくらいにけたたましい複数個体の鳴き声が聞こえたことです。また池の周りの樹にはたくさんの卵が産み付けられていました。「これは相当な個体数が放流されたな…」と思いました。すでに学校の先生方が駆除をしてくださっていましたが、それでも捕獲が追い付かないくらいに個体数でした。そして私もこの日モリアオガエルの成体と卵を捕獲しました。これまで先生方が捕獲してくださった個体とこの日の個体を合わせて成体29個体、卵9塊が駆除されました。

ただ、先生方も学校の現場で駆除したモリアオガエルを殺してしまうのは、生徒たちにどのように説



明すれば良いか難しいとのことで、殺さず飼育をしてくださっていたようです。そこで私もモリアオガエルを引き取り、職場である観音崎自然博物館で国内外来種の問題の啓発も兼ねて展示することにしました。また自宅でも飼育をすることにしました。モリアオガエルは飼育をすると人慣れして愛着が湧く種です。しかし、本来生息しない地域に放流することで、在来の生態系の影響を与えてしまいます。放流をしている方にはどうか放流を控えていただきたいものです。

この日のモリアオガエルの駆除については、観音崎自然博物館のYouTube「どたばた学芸ちゃんねる」でも紹介しました。

https://www.youtube.com/watch?v=_n12sFZ1INk

是非ご覧いただき拡散していただければ幸いです。



事務局だより

◆10月～12月の活動予定

☆定例クリーンアップ&生き物調査 10/27(日)、11/24(日)、12/22(日)

10時～11時 大道一丁目緑地 (旧称ちとせ園)

持ち物：川に入れる格好、タオル、軍手 (必要な人)、網 (使いたい人…貸出あり)、着替え (心配な人)

※川の上からの参加でも構いません ※雨天中止



☆六浦地区センターイベント 六浦フェスタ 申込み不要

六浦フェスタは学園祭をイメージした地域の発表や展示の会です。その中で侍従川の生き物展示を行いますので、皆様ぜひお立ち寄りください。

【会期】10月5日(土) 10:00～6日(日) 15:00

【場所】六浦地区センターと六浦地域ケアプラザ

【内容】①生き物展示 ②会報等の配布 ③活動紹介パネル展示の予定

☆金沢動物園イベント Zoo to Wild Fes ～Autumn～ 申込み不要

昨年「人と自然との関わり」をテーマに金沢動物園で開催された「Zoo to Wild Fes ～Autumn～」に本年度も参加します。

【会期】10月12日(土)～14日(月・祝)

【場所】金沢動物園わくわく広場

【内容】①生き物展示 ②会報等の配布 ③活動紹介パネル展示の予定

【注意点】入園料が必要(一般500円、中人・高校生300円、小・中学生200円、小学生未満無料)。

☆ネイチャークラフト ～クリスマスリース～ **要申込み**

【日時】 **11月17日(日)** 10:00～14:00頃

【集合/解散】 大道一丁目緑地 【活動場所】 釜利谷六号緑地

【参加費】 会員無料、非会員500円

【持ち物】 剪定鋏、爪楊枝10本以上、速乾木工ボンド、ニッパ(ある人)、アクリル絵の具(必要と思う色)、筆、開いた牛乳パック1、はさみ、昼食、飲み物、レジャーシート(お昼に必要な人)

【申込み方法】 以下の**※1**参照

会の活動はLINEグループでもお知らせしています。登録はこちらから ⇒



☆冬の森探検 **要申込み**

【日時】 **12月15日(日)** 9:00～15:00

【集合/解散】 大道一丁目緑地 【参加費】 会員無料、非会員500円

【コース】 大道一丁目緑地→朝夷奈切通→三郎の滝(生きもの探し)→十二所果樹園→展望広場(弓矢づくり)→熊野神社→朝比奈町(解散可)→大道一丁目緑地/(解散)

【持ち物】 参加費(非会員)、山歩きしやすい格好、長靴・たも網(水中生物を捕まえる人)、昼食(買い弁可)、水筒、ナイフ(ある人)、タオル、レジャーシート(必要な人)、その他必要と思われるもの

【申込み方法】 以下の**※1**参照

※1 「氏名」「学年又は年齢」「携帯電話番号」「緊急連絡先(雨天中止連絡アドレス)」に加え「会員・非会員」を記入の上、[info★jijyukai.sakura.ne.jp](mailto:info@jijyukai.sakura.ne.jp) (★を@におきかえてください) 担当の寺尾までご連絡ください。

「やまだようじの横浜金沢いきもの図鑑」

金沢シーサイドFM85.5MHz

毎週水曜日14:00～14:54放送!

<https://kanazawa-seasidefm.co.jp/>

YouTube「ラジオ番組 やまだようじの横浜金沢いきもの図鑑」ではバックナンバーも聴けます。

4/3…副代表 佐野真吾氏(観音崎自然博物館)出演

8/14…会員 安藤正人氏(金沢動物園)出演



《編集後記》今年の夏はこれまでに一番暑かったのではないかと思います。いったいどこまで暑くなるんでしょうか。。。そんな猛暑の中、活動に参加いただいた皆さんには感謝しかありません。ありがとうございました。(MK)

侍従会のホームページはこちら

<https://jijyukai.sakura.ne.jp/wp/>

これまでの会報を全て見ることができます。

